

<p>△産業宣教 産業人は現場宣教師 - 毎日の始まり(使 13:1)</p>	<p>△RT と TCK 伝道学 300% 準備(使 13:1-4)</p>	<p>△核心 聖霊によって送り出された道に従い(使 13:1-4)</p>
<p>産業人は講壇宣教師ではなくて現場宣教師だ。それゆえ、完全に聖霊に導かれることが最も大きな祝福だ。</p> <p>□序論</p> <p>1. 私-教会 私たちは人なので「私」というものが中心となる。創 3、6、11 章のために福音から与えてくださった。 1) ユダヤ人(ヨハ 8:44)は自分だけ分らない。イエス様は「あなたたちの父である悪魔に属している」と言われた。 2) ペテロ(ガラ 2:11-20)もユダヤ人式ですべきだと言った。私中心になれば、私の考えが中心となる。結局、ローマ福音化はできない。 3) ローマ(ヨハ 16:11-14)福音化以降にさらに大きな問題が来た。サタンが完全に世の中の王になった。 (ガラ 2:20)私中心だけ抜け出しても、多くの祝福を受けて、祈りはここから出て来るのだ。</p> <p>2. 最後の講壇 1) レムナントが一番最初に変えなければならないことが私の中にあるやぐらだ。 2) イエス様がエルサレム、ユダヤ、サマリア、地の果て、旅程を話された。 3) 道しるべ(証拠)は、そちらに、証拠を建てることだ。</p> <p>3. このときから、伝道するしもべを助けるようになる。毎週、礼拝をささげて神様の答えを受けるならば、聖霊の導きを受けているのだ。 人々はみな利益によって動く。皆さんは尊い方々なので、神様のみことばの流れを伝えられる。</p> <p>□本論</p> <p>1. 使 13:1-4 に聖霊に導かれる者とともにいるようになる。 1) 伝道の実を結ぶ者とともに。 2) 神様は完ぺきな聖霊の導きをされる。 3) ここに入っている産業人と重職者は答えの中に入れば、みな来るようになっていく。</p> <p>2. 300% 1) 使 9:1-15、11:19-30 自分自身が 100%神様の答えを先に受けるのだ。 2) 使 13:1-4 それから、現場に神様の働きが起こることが見える。 3) 使 13:1、12 するとシステムが作られて持続できる。</p> <p>3. 未来 1) 時代を生かす伝道者と重職者とともにする重要なことが出てくる 2) ロマ 16:1-23 の中に入る。これは未来だ。代表的なことは支援者、同労者、家主だ。 3) ロマ 16:25-27 隠されていたこと、とこしえまであることを与えてくださったのだ。</p> <p>□結論_迫害 1. 当然 ユダヤ人が迫害したので困難が来るしかなくて、宣教まで出て行くので当然、迫害 2. 必然 それゆえ、皆さんを呼ばれたのだ。 3. 絶対 神様の確かな計画がある。</p>	<p>□序論_やぐら 旅程 道しるべ レムナントと TCK は小中高まではタラントを見つけた時期だ。レムナントは現場に出て行く前に三つのことを築かなければならない。 やぐらを変えて、旅程-神様が与えられる力で勉強するのだ。道しるべ-みことばを握って祈っていれば、これから重要なことが出て来る。 △300%準備-ビル・ゲイツは大学で 100%、現場分析で 100%、世界化のシステムを作って 100%を準備した。 □本論 1. 内部 1) 使 11:19-30 コルネリウスの家で食事したことを問題にしたマルコの屋上の部屋教会は間違った契約を握ったのだ。ここで、散らされた者たちが集まってアンティオキア教会が建てられ、事実上、神様は方向を変えて燭台を移された。 2) 使 12:1-25 その日の夜に大きな迫害が起こったとき、全く揺れないで集まって祈り始めた。神様はその日の夜にヘロデ王を呼んで行かれた。</p>	<p>レムナント-一日 5 分ずつでも祈ればやぐらが変わる。弟子- 24 時祈り免疫力を育てる呼吸と祈りを継続すればシステムが作られて、世界福音化の門が開かれる。私たちは他のものではないので、聖霊がなされる道に従って行かなければならない。それゆえ、祈りのシステムを作ろうとするのだ。 □序論_神様は「キリスト」を与えてくださり、三位一体の神様の働きを味わうようにさせられる。キリストの中にすべてがある。 1. カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の部屋-完了した。ミッション、体験 2. 天命、召命、使命-必ずすべき答え、時間に合うように出てきて、現場で答えがつながる 3. 当然、必然、絶対-当然来ることが来たこと、それゆえ皆さんを呼ばれたのが神様の計画 4. 一心、全心、持続-キリストを通して祈りのシステムが作られれば一心、全心、持続 5. ただ、唯一性、再創造-競争 x、ただ発見、他の人が訪ねて来る。外側の人も生かす。 6. 24、25、永遠-24 すれば 25 の答えが来て永遠の作品を残す。 7. 刻印、根、体質-祈りができない。創 3 章以降、霊的なことが荒廃している状態。はやくやぐらを変えなければならない。それゆえ、刻印させる。刻印された通り根をおろして体質になる。 □本論_作られる 3 システム 1. 成功した RT-OURS 1) ただ 2) 唯一性 3) 再創造のシステム 2. 世界福音化を成し遂げるシステムが出て来る。 1) 24 味わい 2) 25 待つ 3) 永遠 挑戦-再創造に向かって △ただを発見すれば 24 になるしかない。唯一性の答えが来始めれば神の国の奥義が出てくる。再創造が見える。これに向かって挑戦するのだ。 3. 世界福音化を完成させた RT 1) With -どこへ行っても大丈夫で 2) Immanuel -インマヌエル 3) Oneness -過去のことも全部祝福 △金土日時代を開けば、金曜日は準備して、土曜日に集まってこれを集中的に、科学的に、医学的に、聖書的に分析しなさい。すると、答えが来る。講壇を通して神様のみことばで答えが見える。私の考え、私の計画、私の主張が必要なくなる。それをパウロはガラ 2:20 私の中にキリストが生きておられる。 □結論_ 300% - 7・7・7 をもって 3 集中、3 セットアップ(やぐら-プラットフォーム、見張り台、アンテナ)、3 答え</p>
	<p>△散らされた弟子たち 散らされた者たちの奥義(使 13:1-12)</p> <p>散らされた弟子たちと皆さんが、なぜ奴隷、捕虜、属国、流浪の民に送られたかを分かなければならない。 1. 世界化 これを悟れなければ強大国に奴隷、捕虜、属国に行かなければならない。最近、経済、文化で奴隷、捕虜、属国になる。さらに重要なこと、サタンの奴隷、捕虜、属国になる。 2. 弟子化 散らされた者、残りの者、旅人 この単語が何か。何のためにレムナントを用いられるのか。弟子化</p>	

△区域メッセージ第 42 週 御座のキャンプと永遠の答え(使 2:1-47)	△聖日 1 部 神の経綸(エペ 3:13-21)	△聖日 2 部/ 237 宣教委員会献身礼拝 宣教は世界教会を生かすこと(エペ 4:1-16)
<p>御座を信じた人々が集まって祈って答えが来たのがマルコの屋上の部屋だ。</p> <p>□序論 福音を伝えるとき、いつでも迫害を受けたが、初代教会は 7 つの状況があった。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国家政治(宗教) - 国家政治が宗教と関係あって、間違っているも国家でしろと言われたらする時代であった。</li> <li>2. 異端の濡れ衣-福音を伝える初代教会を異端の濡れ衣を着せてしまったのだ。</li> <li>3. 法的拘束-福音を伝えれば法的に拘束させてしまった。</li> <li>4. 死刑-続けて伝えれば死刑にさせた。</li> <li>5. 社会断絶-現実的にも社会から断絶させてしまった。</li> <li>6. チーム構成-イエス・キリストを伝える初代教会を捕まえるためにチーム構成をした。</li> <li>7. ローマ(250 年) - ローマを利用してローマがキリスト教を 250 年迫害するようにした。</li> </ol> <p>△これを味わう祈りのやぐら、イエス様の約束が御座のやぐらだ。この力で行く御座の旅、エルサレムとユダヤ、サムリア、地の果てまで御座の道しるべを説明した。ここにみな逃げて 120 人残ったのだ。この人々が集まって祈ったが世界福音化が起こった。</p> <p>□本論 キャンプ-すべての生活がキャンプになれば、私たちの行く道が全部キャンプとなる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聖霊-私の中に(1 コリ 3:16) - 私たちがいくら無力で、価値がなくても神様の聖霊が私のおられれば神殿(宮)になるので御座の力が臨むようになる。</li> <li>2. 集まる教会も神殿なので、礼拝するとき、御座の力が臨むようになる。       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヨハ 19:30 すべてを完了した。</li> <li>2) 使 1:3 神の国</li> <li>3) 使 1:8 この答えがマルコの屋上の部屋に来たのだ。</li> </ol> </li> <li>3. 現場(マタ 18:18-20) - 私たちが行く現場が教会で、御座の力が臨む。</li> <li>4. 神殿(宮) - メイソン戦争-最高の答えを受ける現場が神殿なので、結局、メイソン戦争だ。</li> <li>5. 御座の影-教会は御座の祝福を説明する影、御座に行く停留所だ。</li> <li>6. 真の礼拝-真の礼拝するとき、すべてが臨む。私たちが答えを受ければ何も問題にならない。</li> </ol> <p>□結論 24、25、永遠 祈りのやぐらを作りなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大きな問題-大きなことをしようとするれば大きな問題も来る。それでこそ、大きな答えを見つける。</li> <li>2. 背景-本当に用いられようとするれば背景が難しいこともある。レムナント 7 人がみなそうだった。</li> <li>3. 病氣-病氣になった者で、神様に用いられた者が多い。</li> </ol>	<p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. わざわいの中で残る者として準備       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 福音がなくなった証拠として来る三つの時代-麻薬・同性愛、精神病、戦争時代</li> <li>2) 初代教会-イスラエル滅亡、ローマ時代、異端の濡れ衣</li> <li>3) 受ける患難はあなたがたの栄光、より大きなことを与えると約束</li> </ol> </li> <li>2. 私たちの準備       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 新しい家族-岩(教会)・よみの門 x 天国の鍵、助け主、神の国のこと</li> <li>2) レムナント-やぐらを備えなさい。</li> <li>3) 重職者-完ぺきな聖霊の導きを受けて答えを受ける 300%準備(聖霊の満たし)</li> </ol> </li> <li>3. イエス様の約束       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 御座のやぐら-三位一体の神様が御座の力、3 時代に勝つことができる力で、あなたとともに、空中の権威を持つ支配者に勝つ力、5 力、未来を見ることが出来る力、地の果てまで力を与える。</li> <li>2) 御座の旅-三位一体の神様が働かれるその道、10 義、10 土台、5 確信、9 流れ、一生の答え。あなたが行く所はキャンプ、あなたは光</li> <li>3) 御座の道しるべ-すべてを解決したカルバリの丘、オリーブ山の祝福、マルコの屋上の部屋の力、(アンティオキア)、聖霊の導きを受けるアジア、マケドニア、ローマ</li> </ol> </li> </ol> <p>□本論 神様の経綸-神様の絶対計画の中に私たちがいればよい。</p> <p>※神様の主権-生死禍福の主管 神様の予定-救いの計画 神様の摂理-すべてを備え 神の聖定-時刻表 神様の経綸-神様の意図(目標)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福音化の絶対計画(16-19 節) - ただ福音という始まりを知る人々       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ヨセフ-世界福音化を知って、その中に入ってわざわざ止めた</li> <li>2) モーセ-人生と世界のわざわざ止める始まりを知らせた母(羊の血)</li> <li>3) ダビデ-契約の箱と神殿を準備して伝達して油を注いだサムエル</li> </ol> </li> <li>※ただ福音を本当に信じる時、暗闇は崩れる。</li> <li>2. 異邦を生かす絶対計画(14-15 節) - 過程を知っている人       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 荒野の危機-契約を告白したヨシュア、カレブ</li> <li>2) アナク山地-契約を語ったカレブ</li> <li>3) アブサロムの反逆-ダビデを助けたバルジライ</li> </ol> </li> <li>3. わざわいを止める絶対計画(20-21 節) - 終わりを知っている人       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 70-1948 年まで福音を防いだユダヤの次世代がわざわざの中に入ることを知って絶対武装</li> <li>2) カナン入国は神様のみこころ</li> <li>3) ローマ(世界)福音化が神様の終わりであることを知っていたパウロ</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 状況が良くない人-基礎から最後のやぐらまで進めなさい。</li> <li>2. 事故、病氣の中にいる者-神様のやぐらを植えて、それに代えてしまいなさい。</li> <li>3. 濡れ衣、宣教師、レムナント-各種族に名前を与えられた御父に祈り(14 節)</li> <li>4. 今週の祈り-神様のやぐら準備。神の国のことが私と私の家にかかるように。神様がくださった御座のやぐらで 300%準備</li> </ol>	<p>先に知っておくべきこと-今起っていること</p> <p>使 11:19-30 アンティオキア教会で起こったことが起きている。宣教献身礼拝であるからだ。宣教を始めた教会に神様はすべての祝福を集め注がれた使 12:1-25 大きな危機が来たとき、その日の夜に重職者と信徒が集まって祈って大きな働き</p> <p>使 13:1-4 聖霊が完全に働いて、道と人とすべてのことを指示</p> <p>使 16:6-10 大きいターニングポイントが来る。マケドニアに行きなさい。</p> <p>使 27:24 パウロ、恐れてはならない。カエサルの前に立ちます。私たちがする宣教献身礼拝は世界教会から生かすことだ。</p> <p>□序論 急務な理由</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 門を閉める教会 1) 福音 x 2) 違うことをして苦難を受ける       <ol style="list-style-type: none"> <li>3) 神学を勉強しない牧会者が多数 4) 衣食住の悩み 5) 宣教地で紛争</li> </ol> </li> <li>△来ている多民族各人に後見人を付けて、話さなくても知って、いつも世話するようにしなさい。</li> <li>2. 飢え渴いた人々が多数       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 中国 2) 南米 3) アフリカ 4) 難民 5) 5000 種族(平均年齢 35 歳)</li> </ol> </li> <li>3. さらに急務なこと 1) 使 11:1-18(不必要なことを継続する教会)       <ol style="list-style-type: none"> <li>2) ガラ 2:11-20(ポジション争い)</li> <li>3) マタ 12:26-30(福音を防ぐ場所にいる)</li> <li>4) II コリ 10:4-5(違うことで要塞が作られていれば打ち倒すべき)</li> </ol> </li> </ol> <p>□本論 急務なこと</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教会福音化「根源回復」-神様の最も大きな願い       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 先にすること(1-10 節) - すべての謙そん、柔和、寛容でしなさい。</li> <li>2) ワンネス(376 節) - 聖霊の中で一つ。二人だけ祈りが通じても働き</li> <li>3) 理由(12 節) (1) 整えて (2) 奉仕 (3) 教会(キリストのからだ)を建て上げるように</li> </ol> </li> <li>△礼拝をよくささげて、みことばだけよく握って祈れば良い。信徒と伝道者のために 24 祈るチームを構成しなさい。</li> <li>2. 個人福音化「答えの回復」(10 節) “満たし”       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 私-神様との関係回復 2) 天+地の権威であなたとともに</li> <li>3) 光の経済、宣教経済、RT 経済-本当に宣教する皆さんに与えられること。</li> </ol> </li> <li>3. 世界福音化「時代回復」-本格的に祈り三つをしなさい。       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 三つの庭(記念碑ができるように祝福される)</li> <li>2) 金土日時代(癒やしてこそサミットとなる) 3) 黙想運動の主役</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 聖霊の満たし-「300%」答えを受けること       <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 使 13:1-4 奥義のやぐらを味わって完ぺきな聖霊の導きを受けた</li> <li>2) 使 13:5-11 現場を完全に生かした。</li> <li>3) 使 13:12 総督が福音を受けた。</li> </ol> </li> <li>2. 信仰-世界福音化、キリストを送る、暗闇の権威に勝つのは信仰</li> <li>△契約を信じるだけ働きが起こる。</li> <li>3. すべてのことを機会にしなさい。</li> </ol>